

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名 マス・イラプション	投球者 徳江 和則	センター 平和島スターボウル
RG 2.460	△RG 0.040	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

テストボール：マス・イラプション

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 5 インチ

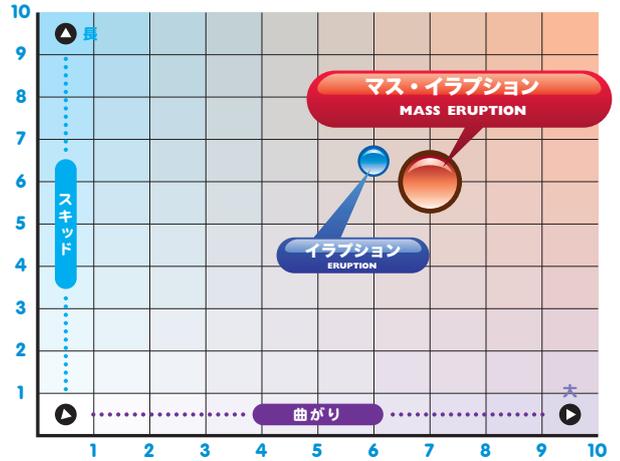
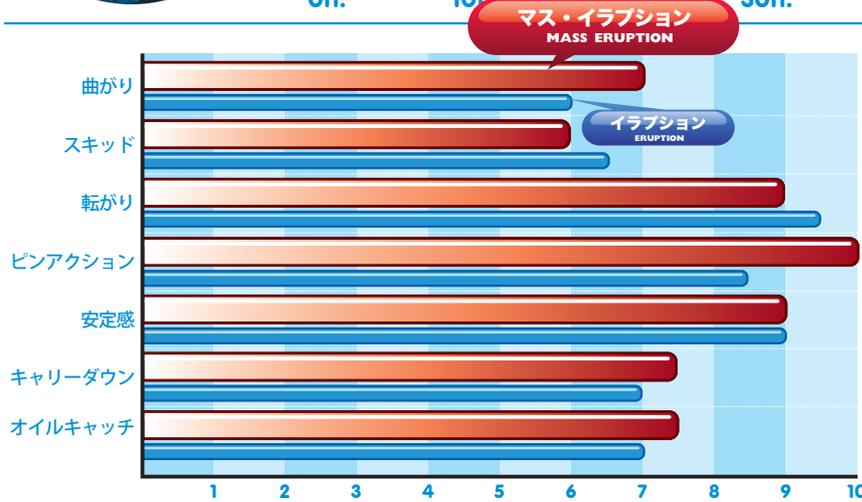
表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤 番

比較対照ボール：イラプション

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 4 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤 番



ボールの評価

我々ABSボール開発チームはミッドプライスのボールの性能と質の向上を模索していました。Columbia300協力のもとミッドプライス領域に焦点を絞り、さまざまな性能を試してきました。そしてColumbia300の昨年ベストセラーERUPTIONをベースにして「日本人が好む曲り」と「柔らかいピンアクション」をこのMass ERUPTIONで表現します。

「どのようにしたらERUPTIONのイメージを損なわず、独自の性能を強調できるか」歴代ERUPTIONで最も粘り強いキャッチ感を持ち、エネルギーロスなくしなやかにコントロールできること。そして今回最も吟味されたピンアクションは高いレベルで仕上がっており、ミッドプライスの領域を遥かに上回るアクションを実感して頂けます。

インターナショナル製品の良さは、自分たちが求める性能を納得するまで作り直しができることであり、ユーザーの意見や感想を製品に反映させられることができる場でもあります。ミッドプライス、対応領域、高性能、ピンとびの良さ。今度のMass ERUPTIONは皆様が求めるものを兼ね備えています。

パフォーマンステストではERUPTIONシリーズ中、最もキャッチは強く、曲り始めのイメージも早まっています。曲り幅自体はやや大きくなりましたが、トータル的な曲りのイメージはERUPTIONに近く、ERUPTIONをそのままキャッチさせたイメージを描くことができるでしょう。対応コンディションはミディアムライト～ミディアムヘビーまでをカバーし、高性能なボールを広い領域で投げて頂くことができます。そしてERUPTIONでも感じる先でのフリップ状の動きから柔らかいピンアクションへと連動され、ストライクになった瞬間必ず「良いボール」だと、このボールを手放せなくなるでしょう。

特記事項

ワンランクレベルが上がったと感じられるMass ERUPTIONは、今期ミディアムコンディション領域の中心となるべきボールとなるでしょう。